



発行所 9番 号者局
第5出張所
第5出張所

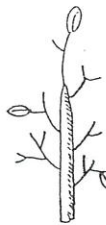
昭和61年12月20日
木第5出張所
昭鈴玉川
TEL. 700-9120

四季折々

一月十五日、成人の日、
二月十一日、建国記念日、
とカレンダーをめくる一年も、一寸、見方を変え、土の香りがする身近な歳時記となります。

今回のひろばは、私たちの町の民俗行事を中心に特集という事になりました。裏面地図もご参考に。中には江戸時代より代々引き継がれている行事もある様です。

記事中、成田講、お日侍講、念佛講等々、『講』という字が度々使われていますが、今で言えば『○○会』とする会でもなるのでしようか、講組織には大きく分けて二種類あります。一つは神佛の信仰を中心に集まる人の集団、もう一つは金銭融通の目的で組織される人の集まりです。成田講、御嶽山講、念佛講等は、その意味では前者に属する講となります。(飯田)



9 月		7 月		3 月		1 月	
区民まつり ラジオ体操 納涼映画会 愛鳥の日(23)馬事公園 敬老会 秋夜会 十五夜 成田講 念佛講 風祭(一日) 瀬田玉川神社で天災から農作物を護り、家内安全を祈ります。 瀬田農業会主催。		七夕 花火大会 盆踊り 盂蘭盆会 灯ろう流し		雛祭り 春彼岸会 節句 念佛講 春秋お彼岸に瀬田五丁目の大塚伊三夫、大塚秀雄両家が交代で宿となり、二百年以上続いています。		初詣 初大師(21日) 成田講 お日侍講(14日) 豊村で五穀豊稔、家内安全を祈り、夜明け花語り合う行事。	
12 月		10 月		6 月		4 月	
除夜の鐘 毎旦大晦の夜半、人々の百八煩惱を除くためお寺の鐘が鳴り響く。(田賀真福寺)残念ながら鐘楼の鐘ではないかも……?		区民体育祭 区民美術展 秋まつり お砂踏み(21日) ラッパ(2)三子玉川 七・五・三 お十夜 浄土宗の年中行事で十日十夜の間、念佛を修行した法会。十月から十月十日に一日だけ行なわれる。		第6天まつり(15日) 昔、第6天様が祀られていた縁で、第6天会老人クラブ主催。		花水木まつり 花祭り(8日) 二峯山講 御嶽山講 榛名山講 榛名神社の歳除けのお礼賀い代参人を中心に開かれている。	
5 月		2 月		1 月		1 月	
お砂踏み(21日) 玉川大師では、大護魔と地下霊場で行なわれる裸足の行。		節分会 雛放流 初午		お日侍講(14日) 豊村で五穀豊稔、家内安全を祈り、夜明け花語り合う行事。		初詣 初大師(21日) 成田講 お日侍講(14日) 豊村で五穀豊稔、家内安全を祈り、夜明け花語り合う行事。	

まちの歳時記

くらしの中の行事

近ごろ此処いら
賑ごよみ

鈴木 武一

一月二月は真冬のさかり
荒波風に積る雪

羽根つき風あけ昔の事よ
今じゃパソコンゲームの盛り

だけとありますカルタ会
三日産聞きや、驚きも

雛人形にかくれて一人鳴き
学校行事も事なくすんで

街は勤勤赴任の時代
入社入学入園すんで

フペン辱しそわそわ気分
カルリ曲りは他所の人

四月も末となりました
青葉若葉の鼻月の祭り

端午の金ちゃん腹がけけて
母の日真赤なカネーション

朝寝さかりの五月晴れ
ウットーしいです雨づくし

期本シケンに子供もゆれて
七夕様は曇りがち

先祖の祀りウラ盆も
早る暑さの土用干し

夏たやすみだ故郷まつり
今年、帰るよオッカさん

夜汽車の切符買う行列の
背なでお父の音がする

防災敬老十五夜さんも
残暑とはした台風も

忘れて稲刈り講ほり大会
ミニコンにワッシャー秋まつり

菊の香りに紅葉をのせて
文化祭やう芸術祭

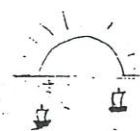
焼芋あついでさかり
山のしらさは雪により

師走 木枯らし様ださむい
三バト売出レバケン戦争

あけて口惜しい宝くじ
紅白唄い 鐘の音きいて

あしたも天気か
正月空だ

正月空だ



★“ひろば”ご希望の方は玉川第五出張所においでください。どうぞ。

回覧

まちかど行事の Guide

マップ

川崎市

岡本

桜丘

東名高速

桜8号線

申

初午
井中丸橋荷

初六天祭 6/15

初午
本村橋荷 開

愛馬の日 9/23
ホースショー 5日

馬事公苑

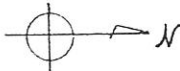
世田谷区民祭り

ミズ世田谷

桜新町

玉川通り

桜町小



将まつり

初午
井中丸橋荷

盆踊り

瀬田中

瀬田小

お十夜

法徳寺

お十夜

成田橋

盆踊り

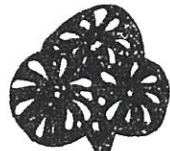
花みず木祭り 4月

開諏訪神社

区民体育祭

二子玉川緑地運動場

花火



サケの放流

盆踊り

金おしり

大井町橋

三子橋

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

三子川

あともがき
日差しがいちだんと短くなり、気忙しい季節になりました。
ひるばひの号は、年末発行となりましたので、ちょっと趣向を変え、あなたの街で昔から今日まで受け継がれてきた、さまざまな行事を曆にしてみました。
いかがでしょうか
あなたも
ぜひ、ご参加を……
(高橋登)
筆耕カト 折原

作図 鈴木(堅)